

プラス思考で発想転換！ 心躍る七尾市を目指して！

さらなる交流人口拡大へ

七尾市の人口減少は、今後ますます進むことが予想されます。将来にわたって、市民が元気で豊かさを感じられる地域づくりとは何かを考えなければなりません。

この3月には、いよいよ北陸新幹線が金沢まで開業し、能越自動車道が七尾まで全線開通します。また、七尾港の整備も進み、のと里山空港を含めて、陸・海・空の交流や産業振興の基盤が整います。「近くなる七尾」を好機とし、これまでに以上に積極的な施策に取り組みます。

近年大きな成果を上げているのは、スポーツを中心とした合宿です。和倉温泉や能登島を中心とした施設をたくさんの人に利用していただき、「スポーツ合宿のメッカ」としての認知度が高まっています。1年間で10万2千人もの利用者が訪れるようになり、地域経済の活性化につながっています。

キーワードは「地方創生」

国は、人口減少対策と東京へを発信し、地道ではありませんが、定住人口のさらなる拡大を図ります。移住した人の中には、これまでに培った能力や経験を生かした暮らしをしている人もおり、地域の活力にもつながっています。また、若い世代の人が安心して働き、出産・子育てできるように、切れ目ない支援の充実に努めます。

地域での支え合いのネットワークづくり

近年、少子高齢化や核家族化の進展、地域の連帯意識の希薄化など社会環境が変化する中で、防犯、福祉など多くの分野で、地域を取り巻く課題は複雑・多様化しています。これらの課題を個人や行政だけでは解決するには限界があります。住民同士が支え合い、課題解決に向けて取り組むことが重要です。

地域を支えるのは人です。「市民が主役のまちづくり」を実現し、安全・安心に暮らし続けることができるよう、自主防災組織や地域福祉ネットワークを構築するなど、「協働」による

の「極集中を是正し、人の流れを変え、魅力ある地域づくりを進める」地方創生」を本格化させていきます。

七尾市としては、国の動向を注視しながら、引き続き「ふるさと七尾」の発展のために、地域の活性化と交流人口の拡大に努めます。

雇用を生み、定住を増やす地道な取り組み

昨年度、地域の強みや特色を生かした産業の活性化を図るために、「地域産業振興プラン」を策定しました。第1次、第2次、第3次産業全体にわたる波及効果を生み出し、新たな事業や雇用を創出します。

また、「シャッターオープン事業」による商店街の空き店舗対策や、七尾商工会議所・のと共栄信用金庫・日本政策金融公庫と七尾市の4者で連携している「ななお創業応援カルテット」により、官民一体となって起業・創業を応援します。都市部から七尾への移住者を獲得するために、住宅支援や空き家バンクを運営し、ポータルサイトなどで七尾の魅力

地域づくりを推進します。

一人一人が元氣な七尾づくりの担い手に

七尾市には、豊かな自然や祭りなどに代表される伝統文化、それを支えてきた地域の絆など先人から受け継がれた素晴らしい財産があります。それらを大切に守り、後世に継承しなければなりません。

北陸新幹線金沢開業など、七尾が飛躍するための追い風が吹いています。「地方創生」に加え、地域資源を活用し、地域の絆をさらに強める取り組みにより、市民一人一人が夢や希望を持ち、「心豊かで幸せを実感できる元氣な七尾」を創ります。

新年を迎え、気持ちを新たに、とまがなばりましょう。

七尾市長

不嶋 豊和